



主キリストの誕生おめでとうございます。

あがない主の母

あがない主の聖なる母 天の門、海の星 立ち上がろうとしてあえぐあなたの民を
どうぞお助けください あなたはみ使いのお告げを受け入れ 全被造物の驚嘆のうちに
ご自分の造り主をお産みになりました 永遠におとめであるみ母よ

わたしたち罪びとをあわれんでください (ヘルマンノ・コントラットの作とされる)

+++++

デコレーション部より

今年のクリスマスの飾りのテーマは「星」です。

皆さんは、クリスマスの星、といえば、キリストの誕生を知らせるために、羊飼いたち
や東方の博士たちを導いた星を想像するでしょう。

クリスマスの星は「キリストの星」と呼ばれ、五角の星（ペンタゴン）です。これはキ
リストが十字架にかけられた時に受けた傷（両手、両足、槍で貫かれた脇腹の傷）を表し
ているそうです。

五角の星は一筆書きで書くことができます。最初の点と最後の点と同じところにつなが
っている事は聖書に書かれている神の別名、「アルファ」と「オメガ」を表しているそう
です。

またキリストの星は、夜明け前に現れる金星、または暁の星と言われ、太陽に先立って
新しい一日を知らせるこの星は、自分で光を放つのではなく、これから昇ろうとする太陽
の光を受けて輝くのです。イエスキリストの誕生は、この世に神の光を輝かせるためなの
です。

私たちもまた、神から与えられた従うべき星（召命）を持っています。それぞれの星が
唯一無二の存在であり、ユニークな輝きを放っています。それぞれはみな小さくつまし
い光ですが、私たちが一つになって、キリストに従うなら、大きな輝きとなって、他の人
たちを導くことができるでしょう。

内容【デコレーション部】【山口神父様クリスマスメッセージ】

【信徒委員会】クリスマス年末年始【総務部】年末年始当番【典礼部】お手伝い

【営繕部】お手伝い【その他】毎日のミサ購読 クリスマスツリー【11月号訂正】

【チャリティーマーケット開催】【サモア～主によばれて（24）】

サンタクロースは、ホントに生きている

主任司祭 フランシスコ 山口 一彦

クリスマスシーズンになると、幼稚園の保護者会などで、私は次のような話をお父さんお母さん方に繰り返してきました。

「クリスマスも近づいてきましたので、今日はサンタクロースについて、お話ししますね。皆さんのお子さんたちは、たぶん、まだサンタさんが本当にいると確信しているでしょう。では、皆さんご自身は、何歳までサンタさんのことを信じていましたか。まあ、ふつうは、小学校低学年くらいですかね。

以前、国語教育学の世界で、小学校高学年から高校生までを対象にした、結構大規模なアンケート調査をしたことがあります。その中で『あなたは何歳までサンタクロースを信じていましたか』という問いかけがありました。その回答を集計した結果、サンタクロースを信じていた年齢と国語の成績との間に、無視できない相関関係があった、ということです。つまり、大きくなるまでサンタさんの実在を信じていた子ほど、ただの作り話だったんだと早々に気がついた子と比べて、国語の成績が良いということです。

目に見えない世界へのあこがれが大切だ、ということですね。現実世界の向こう側に、目には見えないんだけど、とっても大切な何かがあるんだとあこがれ続ける心が、文章を読む力を育てます。そしてそれは、単に国語の学力だけに留まりません。社会科学、人文科学、自然科学……どの分野でも、目に見える世界の向こう側に潜んでいる、目に見えない何かを探究しようとする心が、原動力になります。これから町中がクリスマス一色になりますが、どうかお子さんたちを、その雰囲気の中に、どっぷりと浸らせてください。

それでも、いつかそのうち、皆さんのお子さんたちは、サンタさんなんて本当はいないんだ、と気づく時が来ます。必ず来ます。その時に是非、次のようなこととお話ししていただければと思います。

サンタクロースには、モデルになった実在の人がいます。西暦 300 年頃、今のトルコにあるミラという町の司教さんをして聖ニコラウスという方です。優秀な神学者だっただけではなく、非常に優しい人格者だったそうです。聖ニコラウスには、こんな伝説が残されています。『ミラの町外れに、とても貧しい一家が住んでいて、近々3人の娘を身売りに出さなくてはならないという噂を、ニコラウスは人づてに聞く。

心配になったニコラウスは、その家の側まで行くが、なかなか中に入れない。司教である自分が突然訪ねたりしたら、何のおもてなしもできない家族に、心苦しい思いをさせてしまうだけだ。どうしようかと思案していると、粗末な小屋の低い屋根の上にある煙突が目に入った。ニコラウスはそっと屋根によじ登って、その煙突から金貨を一枚投げ入れた。すると、煙突の下の暖炉の側に干してあった靴下の中に、その金貨がストンと収まった。一家は、その金貨のおかげで貧しさから抜け出して、3人の娘たちも売りに出されずに済んだ。』

どうですか。良いお話でしょ。当時の司教様は、赤い制服を着ていました。だから、サンタさんは赤い服なんですね。煙突から入って、良い子の靴下にプレゼントを入れる訳も分かりましたでしょ。

さて、ここからが大切なところです。このニコラウスという方は、亡くなった後、『聖人』となりました。だから『聖ニコラウス、サンタ・ニコラウス』って言うんですね。『聖人』って言うのは、この地上に生きていた時の篤い信仰と善い言動によって神様の国に入った、と教会が正式に宣言した方々のことです。今も神様のもとで、私たちのために執り成している信じられている方々です。聖人の中で最も親しまれている方は、聖母マリア様ですね。ですから、ニコラウスは聖人として、今も永遠の命を生きています。神様のもとで生きて、私たちのために、特に貧しさや困難の中で苦しんでいる子どもたちのために、一生懸命に働いています。

確かに、トナカイが引くソリに乗って空を飛び回る、目に見えるサンタさんなんていません。そのことにお子さんたちが気づいた時、本当の意味のサンタさんのことを話してやってください。サンタさんは今も本当に、あなたを見守っているんだ、と話してやってください。」

幼稚園の保護者会での話は以上です。そして、このことは、大人の方々にも知っていただきたいことです……「ほんとうに大切なことは、目に見えないんだよ」……サン＝テグジュペリが『星の王子さま』で主人公に語らせた言葉です。この世は物質世界だけで出来ているのではありません。目に見えない神秘的な次元で、私たちは神様に支えられています。すでにこの世の人生を終えた方々とも繋がっています。

この真理を心に留めて、喜びのうちに聖なる夜のお祈りを捧げましょう。

<信徒委員会・各部からのお知らせ>

+++++

<信徒委員会より>

- ・クリスマスミサ・年末年始の予定
 - ① 12/24 (日) 11 時～待降節第 4 主日ミサ
 - ② " 18 時～降誕祭夜半ミサ
 - ③ 12/25 (月) 10 時～降誕祭日中ミサ
 - ④ 12/31 (日) 11 時～聖家族ミサ
 - ⑤ 1/ 1 (月) 11 時～神の母聖マリアミサ
- *今年のクリスマスミサは事前申し込み等必要ありません。どなたでも自由に参加できます。

- ① 電気点検 (関東電気保安協会)
: 2 か月に 1 回/平日午後 3 時以降
(幼稚園と合同)
- ② 消防設備点検: 年 2 回/平日午後 3 時以降
(幼稚園と合同)
- ③ エレベーター点検: 年 2 回 (教会のみ)
立ち合いのみで難しいことはありません。
よろしくお祈りします。

菊池

<総務部より>

12 月 29 日 (金) の受付はお休みします。
(新年は 1 月 5 日 (金) より)

<典礼部より>

- * 香部屋とお花係のお手伝いして下さる方を募集します。参加して下さる方は担当者にお声掛け下さい。宜しくお願いします。
 - + 香部屋: おもな仕事
 - (1) ミサ後の後始末と、祭壇布、聖布などの洗濯と、アイロン掛け
 - (2) 季節の典礼の準備 (待降節・主の降誕・四旬節・復活節などの、祭儀に必要な準備)
 - (3) 季節の典礼にかかわる備品と、消耗品の準備と、購入 (担当: 杉本)
 - + お花係: 祭壇の前に飾るお花を準備します。特に資格等は必要ありません。(担当: 河本)
- * クリスマスの馬小屋・イルミネーションの片付け
1 月 7 日 (日・主の公現) のミサの後にいきます。ご協力よろしくお祈りします。

<営繕部より>

お手伝いして下さる方を募集します。以下の設備点検の立ち合いをお願いします。

<その他>

- ・「毎日のミサ」購読のお誘い: カトリック中央協議会出版部より 2 か月ごとに出版されている「毎日のミサ」を個人で購読されている方もいらっしゃると思いますが、来年度より大宮教会と一緒に購読しませんか?
教会でまとまった部数を注文することで、割引率が高くなり、その分で神父様用 2 部、教会用 4 部を賄うことができます。この機会にご協力ください。よろしくお祈りいたします。
須田
- ・クリスマスツリーの設置とオーナメントづくりに多くの方のご協力をありがとうございました。クリスマスツリーの片付けを 1 月 7 日 (日) ミサ後に行います。ご協力をお願いいたします。
槻田

※ 1 1 月号の「帰天された方」に見沼区 高山理代さん 2023/3/5 が抜けていました。大変失礼しました。天国で安らかに憩われますように。

チャリティーマーケット開催のお知らせ

日時 2024 年 1 月 28 日 (日)
ミサ 11:00~12:00
バザー 12:30~14:30
出店場所 ロビー1 階・2 階

1、目的

「必要な物を必要な方に」
大宮教会内での助け合いと親睦、国籍を超えた交流を深めたいと思います。
ご協力いただいた全額を大宮教会へ献金します。
(一部ガザ人道支援に寄付)

2、対象

(新品・中古) 宗教書籍・CD・カセットテープ・衣類・日用品・食器・雑貨・食料品 (常温)・手づくり品、他

※コロナ・インフルエンザ等の感染拡大防止のため、飲食物等は対象としません。

※当日の荷物搬入、ディスプレイ、後片付けなどのお手伝いをして下さる方を募集しております。ご協力のほどよろしくお願い致します。

準備委員 五日市 西川 大野 石黒 藤本

† サモア～主に呼ばれて (24) †

初めての外国でのイースター休暇を楽しく過ごして、帰路につきました。休暇を楽しんだ人たちがバスは混雑、おまけに 2 台がパースに向かいました。

午後 3 時出発、予定通りに到着すれば、長距離用のバスターミナルから、電車に乗り、ダウンタウンのバスターミナルまで行って、バスを乗り継げる予定でした。休暇を過ごしたアルバニーからパースまではアルバニーハイウェイという国道 1 本道です。

それまでは遅れたことがなかったのですが、さすがに休暇の最終日。途中のバス停で乗る人も多く、バスは遅れ気味。パースの市内に入ったときにすでに遅れていたもので、電車に乗れるバス停で降りることも考えたのですが、電車の時刻も調べられないので、あきらめました。

結局、長距離用のバスターミナルに、予定より遅れて到着。乗れる予定の電車にも乗れず、ダウンタウンのバスターミナルに着いた時には、最終バスが出た後でした。仕方なく、電話して迎えに来てもらいました。車でも 30 分くらいはかかりますが、何とか迎えに来てくれました。ありがたかったです。

イースター休暇が終わってしばらくすると、日本の事務局から手紙が来ました。サモアで受け入れてもらえることになったとの連絡でした。いつからかはまた連絡するが、とにかく英語の勉強を頑張るようにとのことでした。正式にサモア派遣が決まってくれしかったです。サモアについては、ほとんど知識がなかったのですが、希望の太平洋の島ということで、うれしかったです。あと数か月で生徒に英語で数学を教えなければならないので、英語の勉強にはますます身が入りました。

このころから水曜日が映画半額の日というのを知ったので、学校が終わると映画を見て帰るようにしました。半額で 6 ドル (約 600 円) でした。映画はもちろん英語ですし、字幕も出ないので英語を聞く勉強になります。だいぶ聞き取れるようになってきてはいたのですが、一番分からなかったのは、「ダンス・ウィズ・ウルブズ」という映画です。

アメリカの南北戦争で活躍した白人の男性が勤務地を選べることとなり、そこでネイティブアメリカンたちと交流を深めた主人公が、一人の女性と恋仲

になるというあらすじの映画です。ネイティブアメリカンとの交流なので、ネイティブアメリカン役の人たちが話すのは、英語ではなくネイティブアメリカンの言葉です。それは当然見ている観客にも分からないので、字幕がつきます。その字幕はもちろん英語。だいたい 2 行ですますが、2 行目の 1/3 から半分くらいのところに差し掛かると字幕が変わってしまいます。日本語の字幕だと 2 行くらいは、軽く読めますが英語はそうはいきません。自分の英語力はまだまだだなと実感しました。

月曜日から金曜日は、語学学校で勉強し、家に戻ってからもできるだけ、リビングにいて家族と話をしたり、テレビを一緒に見たりして過ごすことを心がけていました。土曜日だけは、オフと決めて、午前中ゴルフに行き、昼食をとりながら、ビールを楽しんでいました。日曜日は、午前中のミサが終わって戻ると、宿題や復習をして、英語の勉強に一生懸命でした。同じクラスのスイス人とも仲良くなってきて、昼食を広場の芝生の上で一緒に食べたり、ビーチに行ったりすることもありました。スイス人とは英語で話すしかないもので、これも英語の勉強になります。

また、学校の掲示板に貼ってあった「語学エクステンジ」というのも、相手に連絡を取って始めることにしました。これは、お互いの得意な言葉を教え合うというものです。日本語を学習しているオーストラリア人が相手を探していました。電話をして、基本的に会う曜日を決めて、始めました。場所は先方の自宅です。学校が終わってから、その方の自宅まで行き、30 分ずつくらい英語で話す時間と日本語で話す時間をもち、相手に自分の言語を教えるというものでした。その女性は、鹿児島大学で英語を教えていたとのことでしたが、せっかくできるようになった日本語を忘れたくないので、話す機会をもちたいとのことでした。終わると家まで車で送ってくれました。そのことを家に帰って話すと、一度夕食に誘ってみてはどうかと言われたので、夕食にお誘いしたこともあります。残念なことには、名前やどこに住んでいたのかも全く覚えていません。

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿 (本などの感想、特集してほしいことなど) を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2 丁目 3 5 0 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

* おおみや教会通信 次号の発行は 12/24 予定 (原稿締め切り: 12/17)

